

便へモグロビン検査

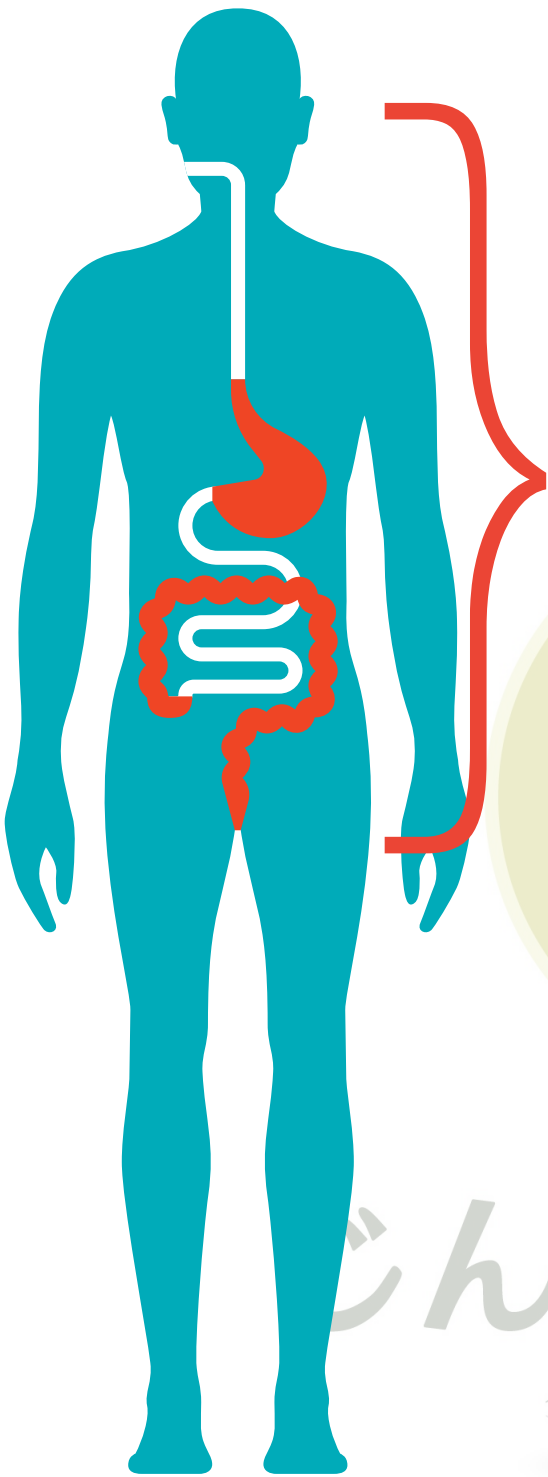
便へモグロビン検査は
糞便中に血液が混じっているか
どうかを確かめる検査です。

口から肛門までのどこかに
潰瘍や腫瘍などがあると
僅かに出血することがあります。

便へモグロビン検査で
その出血の有無を確かめます。

痔などの肛門からの出血でも
陽性になることがあります。

検査が陽性になった場合には
消化管の詳しい検査をお勧めしています。



口から肛門までの
どこかに出血があると
便へモグロビン検査で
陽性になります。

出血原因は潰瘍や腫瘍
痔など様々です。

また病変があっても
陽性にならないことも
あるため
(偽陰性といいます)
2回分の便検査が
必要です。

病変がなくても肉魚野菜や果物、
鉄剤などの医薬品でも
陽性になることがあります。
(偽陽性といいます。)